

市長・市議会議長から新年のごあいさつ



竹原市長
今 榮 敏 彦

明けましておめでとうございます。

市民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、令和4年は、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアによるウクライナ侵攻、燃料・資源価格の高騰など、社会経済情勢の大きな変化により、住民生活への深刻な影響が続いた一年となりました。

こうした中、「たけはら憧憬の路」を3年振りに開催し、全国各地から多くの方にお越しいただいた他、市内中高生の海外派遣研修を実施するなど、新型コロナウイルス

スの感染拡大以前の取組を徐々に再開しております。本年も、感染拡大防止と社会経済活動を両立させながら、日常を取り戻す取組を進めてまいります。

さて、本市は、本年11月に市制施行65周年を迎えます。この節目の年に、庁舎移転を始めとした公共施設ゾーンの再整備や災害に強いまちづくり、新型コロナウイルス感染症への対応など、これまで以上に、持続可能な地域社会の実現に向けた取組を進め、本市の財産である「人」と「地域資源」を融合し、その魅力を活かして「賑わい」を創出することにより、本市の目指す将来都市像である「元気で笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市。」の実現に尽力してまいりますので、本年もより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年1年が皆様にとりまして輝かしい年となることを祈念申し上げます。



竹原市議会議長
大 川 弘 雄

明けましておめでとうございます。

市民の皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから市議会活動に対しまして、多大なる御支援、御協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

本市議会におきましては、昨年11月に改選が行われ、市民の皆様への負託を受けた14人の議員による新たな体制の下で始動いたしました。議員一同、皆様の御期待に応えるべく、決意を新たにいたしましたところでございます。

さて、社会に目を向けると、人口減少、少子高齢化が進行し、地方創生や地域の活性化が大きな課題となっております。また、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響などにより、市民の皆様は大変不安な思いをされていることと拝察いたします。

本市議会といたしましても、この難局を乗り越え、まちに活気を取り戻し、今まで以上に安心・安全で暮らしやすい竹原市にしていけるよう努力するとともに、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、市民の皆様への生活・福祉の向上を目的として、行政と互いに知恵を出し合い、様々な課題に取り組んで参る所存でございます。

結びに市民の皆様への御多幸をお祈りいたしますとともに、本年もより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶と致します。